

「シャインマスカット」の生産性低下をもたらす 未開花症の発生実態及び要因解明に関わる緊急研究

- 1 代表機関・研究統括者
国立研究開発法人 農研機構果樹茶業研究部門 齋藤 寿広
- 2 研究期間：令和5年度
- 3 研究目的
原因不明の「シャインマスカット」の「未開花症」の発生が全国各地で認められている。そこで全国の発生実態を明らかにし、対策のための発生要因の候補を抽出する。
- 4 研究内容及び実施体制
 - ① 「シャインマスカット」の未開花症の発生についての実態調査
全国の生産地の公設場所に未開花症の発生実態に関する調査を依頼し、結果をとりまとめて実態を明らかにする。
(農研機構)
 - ② 未開花症発生に関わる要因調査
全国の未開花症重症園における環境要因を、無発生園と比較解析することで、発生に対する各要因の影響を解析する。
(農研機構、山形園研、山梨果試、長野果試、香川農試、福岡農総試)
- 5 最終目標
「シャインマスカット」の未開花症について全国における発生実態を明らかにするとともに、生産環境要因との関係を解析し、発生要因の候補を抽出する。
- 6 期待される効果・貢献
「シャインマスカット」の高品質果実の安定生産を実現することが可能となり、継続的な栽培面積拡大が図られるとともに、輸出の促進が期待される。

研究の目的（背景）

原因不明の「シャインマスカット」の「未開花症」の発生が全国各地で認められている。そこで全国の発生実態を明らかにし、対策のための発生要因の候補を抽出する。

研究内容（実施体制）

1. シャインマスカットの未開花症の発生についての全国実態調査

未開花症（開花時に花冠が離脱しない異常）

- ・品質低下
- ・収量減



未開花症発生花穂



未開花症による変形果

発生実態の情報を収集

- ・全国産地における発生の有無
- ・発生園の割合
- ・発生園の園地環境
- ・栽培管理等

(農研機構果樹茶業研究部門)

2. 未開花症発生に関わる要因調査



発生園の例1
(土壌物理性不良)



発生園の例2
(水田転換・着果過多)

地域の異なる産地で発生要因を調査<発生園と無発生園で比較>

- ・気象条件
- ・土壌条件（物理生、化学性）
- ・樹体の栄養条件
- ・栽培条件 等

(山形県園芸農業研究所、山梨県果樹試験場、長野県果樹試験場、香川県農業試験場 福岡県農林業総合試験場、農研機構)

最終目標

- シャインマスカットの未開花症について全国における発生実態を明らかにする。
- 未開花症の発生と生産環境要因との関係を解析し、発生要因の候補を抽出する。

【R5年度内に調査、解析結果の報告会を開催、全国の産地に情報共有】

期待される効果・貢献



次年度作に向けた対応方針の策定に資する。



高品質果実の安定生産による、継続的栽培面積拡大、輸出の拡大